

顕現しないものの現象学

—生命・倫理・想像界—



ハイデガーは晩年、「存在そのもの」への問いを「顕現しない（目立たない）もの」の現象学と定式化した
が、この「そのもの」の現象学はその後、フランスを
中心として現象学に新たな領野を開き、存在を外れる
生命、神、倫理、想像界などの経験へと展開してきた。
この、フッサール、ハイデガーを超える新たな現象学
はいかなるものか、それがどのような可能性を持つ
かを論じる。

講師

永井 晋 氏

1960年東京生まれ。早稲田大学、パリ第1, 第10, 第4
大学を経て、現在東洋大学文学部教授。博士（文学）。
『現象学の転回—「顕現しないもの」に向けて』
（知泉書館, 2007年）, “Philosophie japonaise: le
néant, le monde et le corps”（共編著, Vrin, 2013）,
『〈精神的〉東洋哲学—顕現しないものの現象学—』
（知泉書館, 2018年）, ジャン=リュック・マリオン
『存在なき神』（共訳, 法政大学出版局, 2010年）,
『〈東洋哲学〉とは何か—西田幾多郎と井筒俊彦の
「東洋」概念』（2015年）, 他。

2025年 3月8日(土)

15:30~17:00

3号館2階 第3会議室
(有瀬キャンパス)

申込方法

人文学会HPの問い合わせフォームから
お申し込みください

申込先

神戸学院大学人文学会HP
<https://kobegakuin-human.jp/society/>

締切

2025年3月6日(木)



神戸学院大学人文学会

E-mail : jinbungakkai@human.kobegakuin.ac.jp
URL : <https://kobegakuin-human.jp/society/>